1．当事務及び事業に関する基本情報			
Ⅱ－２	Ⅱ　業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 ２．調達等の合理化		
当該項目の重要度、難易度	－	関連する政策評価・行政事業レビュー	予算事業 ID001581

2．主要な経年データ								
評価対象となる指標	達成目標	基準値 （前中期目標期間最終年度値等）	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	（参考情報） 当該年度までの累積値等、必要な情報
なし								

3．各事業年度の業務に係る目標、計画、業務実績、年度評価に係る自己評価及び主務大臣による評価				
中期目標、中期計画、年度計画				
主な評価指標等	法人の業務実績・自己評価		主務大臣による評価	
	業務実績	自己評価	評定	B
	＜主要な業務実績＞ 「独立行政法人における調達等合理化の取組の推進について」（平成27年５月25日総務大臣決定）に基づき、「調達等合理化計画」を策定し、計画に基づく取組を以下のとおり着実に実施するとともに、令和５年度の計画や令和４年度の自己評価結果を機構ウェブサイトに公表した。 ○競争性を確保するための取組 ・調達事務の合理化を図るため複数年契約への移行を検討し適否を精査した。 ・規定（10 日以上）より公告期間を長く設け（概ね 20 日以上）、また、業務準備期間を考慮した上で、契約期間を早期に設定するなど、新規参入者の参入を促すよう努めた。 ・令和４年度より、ウェブサイトにおいて年度ごとの入札予定の公表を行い、業者が入札参加予定の見通しを立てることができるよう配慮した。 ・入札を見送った業者に対する聴き取り調査を実施し、その結果を踏まえた上で、入札参加条件や仕様書等の見直しや改善を図った。 ・参加資格については、過度の制約とならないよう必要最小限の設定とし、競争性の確保に努めた。 ・基準額未満の案件でも技術的要素にかんがみて総合評価落札方式を実施した。 ・競争参加者の増加を図るため、機構ウェブサイトにて、政府調達以外の調達案件に係る仕様書案について意見募集を行った。 ○調達に関するガバナンスの徹底に関する取組	＜評定と根拠＞ 評定：B 年度計画のとおり、調達等合理化計画を策定し、計画に基づく取組を着実に実施した。 契約監視委員会において、調達等合理化計画に基づく取組が実施されていること、また、個々の契約案件について、手続が適正であることを確認した。 以上のことから年度計画における所期の目標を達成したと判断し、Bとした。 ＜課題と対応＞ 特記すべき課題は検出していない。	＜評定に至った理由＞ 中期計画に定められたとおり、概ね着実に業務が実施されたと認められるため。自己評価書「B」との評価結果が妥当であると確認できた。 ＜今後の課題＞ － ＜その他事項＞ －	

・発注・契約権限と検収の取扱いの適正化・随意契約に関する法人内部チェックとして監査室の点検を受けた。
・令和５年７月 13 日に、各課室の調達担当者等を対象に契約手続業務の知識の向上並びに情報共有を目的とした研修会を開催し、全課室より 56 人の参加があった。

○令和５年度契約状況及び一者応札・応募状況の前年度比較

			令和４年度		令和５年度	
			件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
契約状況	競争性のある契約		37	821,879	32	348,378
		競争入札等	35	796,909	30	321,043
		企画競争、公募	2	24,970	2	27,335
	競争性のない随意契約		4	12,778	10	55,354
	合計		41	834,656	42	403,732
一者応札・応募状況	２者以上		19	563,812	10	66,413
	１者以下		18	258,066	22	281,965
	合計		37	821,879	32	348,378

監事及び外部有識者からなる契約監視委員会を開催し、令和５年度調達等合理化計画の策定及び令和４年度調達等合理化計画の自己評価の点検を行うとともに、随意契約、一者応札・応募を中心に点検を行い、審議概要をウェブサイトで公表した。

４．その他参考情報

特になし